



東南側外観

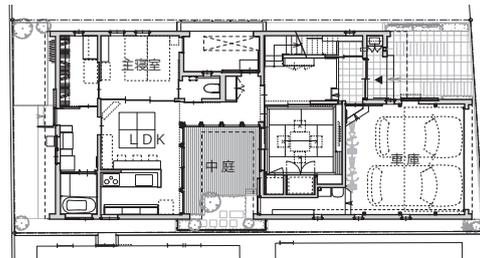


玄関アプローチ

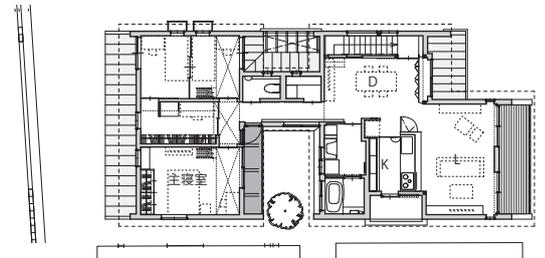
【三世代で暮らす終の棲家】

高度成長期、子ども達の教育を
考え中山間地域から街へ移り住ん
だ。その子ども達も家族をつくり、
近い場所にそれぞれの住まいを構
えた。その子世帯のご夫婦から、
80歳代を迎えたご両親が元気な
うちに、二世帯住宅で一緒に暮ら
したいという依頼があった。ご両
親は畑のある山あいの田舎と、街に
ある住まいを行ったり来たり「都
市と自然の近接ライフ」を楽しんで
おられた。住まいへの要望は、三
世代が仲良く安心して暮らせ、
家族みんなが帰ることを楽しみに
するような住まいであり、二世帯
には程よい距離感をとのことだ
った。地域のコミュニティや景観
の形成にも寄与できることも委
ねられた。

1階は親世帯、2階は子世帯。上下階とも南北二つのブロックに分かれている。南側はパブリックスペース、北側はプライベートスペースと機能で明快に分かれており、上下階・南北を吹抜で繋ぎ、居場所により関係性を調整できるよう構成した。全ての空間が直接あるいは視覚的に繋がり、家族の接点が自然に生まれる構成であり、プライバシーを保ちながら、どこにいても自然の移ろいを感じられる。中庭を中心とし、木の温もりが感じられる心地よい空間である。



1階平面図



2階平面図



1階主寝室よりLDKを見る



2階LKをダイニングより見る



1階LDKより中庭を見る

所在地	廿日市市城内
主要用途	専用住宅(二世帯)
構造	木造
階数	2階建
面積	敷地面積 198.00㎡
	建築面積 106.02㎡
	延床面積 219.95㎡